



栃木市地域支え合い活動推進条例(案)パブリックコメント(意見)募集

市では、日常生活においても支援が必要である高齢者や障がい者等が住み慣れた地域において、社会から孤立することなく安心して暮らすことのできるよう、市、市民、自治会、関係機関等がそれぞれの役割を果たしながら連携・協力し、地域での支え合い活動を推進するために「栃木市地域支え合い活動推進条例(案)」を作成しました。この条例案に対する皆さんのご意見をお寄せください。

- ◆**対象**
 - 市内在住、在勤、在学の方
 - 市内に事業所等を有する方
- ◆**募集期間**
 - 11月25日(水)～12月25日(金)必着
- ◆**提出方法**
 - 閲覧場所にある意見書または市ホームページからダウンロードした意見書に必要事項を記入の上、次のいずれかの方法で提出してください。
- ◆**閲覧場所**
 - 本 地域包括ケア推進課(本庁舎2階)
 - 本 地域包括ケア推進センター(本庁舎4階)
- ◆**提出先**
 - 本 地域包括ケア推進課 ☎(21)2244



栃木市子どもの読書活動推進計画(案)パブリックコメント(意見)募集

市では、読書の楽しさ・大切さを伝え、本に出会うための環境を整えることにより、子どもたちがより多くの本に親しみ、読書の習慣を身につけられるよう、幼稚園、保育園、認定こども園、学校、家庭、地域、図書館等が連携して読書活動を推進するため、「栃木市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

- ◆**対象**
 - 市内在住、在勤、在学の方
 - 市内に事業所等を有する個人、法人等
 - 市税の納税義務者
 - 市施策に利害関係を有する方
- ◆**募集期間**
 - 12月21日(月)～平成28年1月22日(金)必着
- ◆**提出方法**
 - 閲覧場所にある意見書またはホームページから提出用紙をダウンロードした意見書に必要事項を記入の上、次のいずれかの方法で提出してください。
- ◆**閲覧場所**
 - 本 生涯学習課(本庁舎4階)、市政情報センター(本庁舎4階)、市内各公民館、市内各図書館、市ホームページ
- ◆**提出先**
 - 本 生涯学習課 ☎(21)2492



栃木市生活排水処理構想に関するパブリックコメント(意見)募集

市では、効率的な汚水処理の整備・運営管理を計画的に行うため「栃木市生活排水処理構想」の策定作業を行っています。このたび、素案を取りまとめましたので、この素案について皆さんの意見をお寄せください。

- ◆**対象**
 - 市内に在住、在勤、在学の方
 - 市内に事業所等を有する個人、法人等
 - 市税の納税義務者
 - 本施策に利害関係を有する方
- ◆**募集期間**
 - 11月25日(水)～12月25日(金)必着
- ◆**提出方法**
 - 閲覧場所にある意見書または市ホームページから意見書をダウンロードして、必
- ◆**提出先**
 - 本 下水道課(本庁舎3階)、市政情報センター(本庁舎4階) ☎(21)2419



建設工事等業者登録のお知らせ

市が発注する建設工事及び測量建設コンサルタント業務等の受注を希望される方は名簿への登録が必要です。

- ◆**登録の有効期間**
 - 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ◆**申請方法**
 - 本 契約検査課に郵送または持参(本庁舎3階36番窓口)
- ◆**登録の有効期間**
 - 平成28年9月30日まで
- ◆**申請方法**
 - 本 契約検査課(21)2363



42 「親離れ・子離れ」どちらから?

親をさがして飛びついてきた子どもも、やがて(親から)離れていきます。親からすれば子離れ、子どもからすれば親離れが、成長とともにいつかやってきます。親子双方にとって無理なくその時期を通過できれば問題はないのですが、なかなかそうもいかないようです。特に、親の側に悩みが多いようです。

野生の鳥や動物の親は、時期が来ると、親に甘えようとする子の背中を押して自立を促します。人間の場合とは異なり、離れようとする子を心配するあまり過干渉になり、子どもが反発するということも多々あります。では、どうすればよいのか。よく言われるのは「手を離しても目は離すな」ということばです。親から見れば、まだまだ未熟で失敗もするし、不安なスタートですが、「だいじょうぶ、私の子だもの」と心の中で念じて見守る姿勢に切り替えることではないでしょうか? 直接手を離さなくても、さりげなく「応援しているよ」というメッセージを込めて、食事には好みのメニューを用意してあげるとか、「OS」のサインが出た時だけ助け船を出すと、穏やかな見守りを心がけてはいかがですか?

親離れしようとしている子どもに、「誰のおかげで大きくなったか」とか「あんなに見てあげたのにな」と言っていないか? 子育ては、見返りを求めるものではありません。子どもが大きくなるにつれ、子育てにかかっている時間が減っていきます。少しずつ自分の生きがいや、やりがいを見つけ、自分のための時間を増やしていくことが、子にしがみつかない上手な子離れかもしれません。

本 生涯学習課 ☎(21)2490